

想いをひとつに 宜野湾がいちばん

議長のお許しを得て、議案の上程説明に先立ち、市長就任のあいさつと、市政に対する私の所信の一端を申し述べ、議員各位並びに市民の皆様のご理解とご協力を賜わりたく存じます。

まず、去る7月26日に松川正則前市長がご逝去されましたことに深く哀悼の意を表します。松川前市長は、私が期目、二期目に市長に就任した際、副市長として支えていただいた盟友です。

また、私の後を継いで市長に就任し、二期5年10か月にわたり「宜野湾がいちばん」の精神のもと、市民の皆様が暮らしを一番に考えた市政運営を行ってこられました。

議員の皆様にとっても、行政運営だけでなく議会運営のスペシャリストである松川前市長は、政治家としての良き模範であり信頼できる相談相手だったことと思います。

松川前市長を失ったことによる損失は、決して埋められるものではありませんが、それでも私たちは、市民の皆様のため未来に向かって歩んでいかなくてはなりません。

このような中、去る9月8日に行われました市長選挙では、「松川市政継承 想いをひとつに 宜野湾がいちばん」を掲げ、市民の負託を得て当選を果たし、第20代宜野湾市長として、再び市政運営を担わせていただくこととなりました。

市長選挙では、「松川市政継承 6つのビジョン」として、「暮らしがいちばん」、「健康がいちばん」、「地域力がいちばん」、「基地のない平和がいちばん」、「夢のある明日がいちばん」という松川市政の5つのビジョンに、私の重



所信表明

10月1日（火）、第461回宜野湾市議会定例会の開会にあたり、佐喜眞淳市長が述べた所信表明の全文を掲載いたします。

※所信表明とは、市政を運営していく上での基本的な考え方や信念などを述べたものです。

視する「こどもの未来がいちばん」のビジョンを加え、訴えてまいりました。

その結果として、市民の皆様のご支持とご理解のもと、市長という重責を再び務めさせていただくこととなり、身の引き締まる思いです。

この結果は、市民の皆様がこれまでの松川市政の実績を高く評価し、それを継承し発展させていくことに期待を込めているものと受け止めております。これが、私に与えていただいた使命であり、その責任の重さを実感しております。

松川市政の間、本市の最大の懸案事項である普天間飛行場の一日も早い閉鎖・返還、速やかな運用停止については、本年1月10日の普天間飛行場代替施設の建設再開により、大きな前進を見せました。猛威をふるった新型コロナウイルス感染症も5類感染症へ移行し、社会経済の正常化が進む中、本市においても「はごろも祭り」などの行事の再開をはじめ、平常時の行政活動に戻りつつあります。

一方で、本市においても少子高齢化は進み、令和17年頃には人口減少の局面に入ることが予測されることに加え、激甚化・頻発化する自然災害への対応など、新たな行政課題に対し、限られた行政資源で対応していかなければなりません。

今後の4年間につきましては、これまで松川市政で取り組んでこられた様々な政策を前進させていくことはもちろんのこと、新たな行政課題に対しても迅速かつ的確に対応し、すべての市民が笑顔で幸せを感じ、「宜野湾がいちばん」と言っていただけのように、市職員とともに、議員各位並びに市民の皆様のお力添えを賜りながら全力で取り組んでまいります。

それでは、私が市長選挙で公約としてお示した「宜野湾がいちばん！」との強い思いで取り組む6つのビジョンについて申し上げます。

めまず。

児童館が未設置の小学校校区においては、児童館設置にむけて取り組んでまいります。

現在、中学生までの通院費及び入院費について、現物給付の対象を18歳まで引き上げ、完全無料化を目指します。

国家資格等を受験したくとも受験料が高くて受けられないこどもたちのため、受験料支援事業の創設を検討し、こどもの夢を後押しします。

国際社会で活躍できる人材育成のための国のTOFUPプログラムへの派遣や日米交流事業（SEED）への参加を推進するとともに、こどもの語学育成のため、英語指導手配置等により引き続き取り組めます。

待機児童問題の解消に向け、保育士確保に取り組むとともに、待機児童の多い1歳児、2歳児の受け皿増設など子育て環境整備を推進してまいります。

4. 地域力がいちばん

自治会、青年会、女性会、老人会、通い会等の地域組織の活性化を図り、市民力を高め、市民が主役のまちづくりを実践してまいります。

国の高率補助を活用し、老朽化した地区公民館の改築や公園の整備、市道の整備等により地域環境の充実に取り組み

めまず。

激甚化・頻発化する自然災害に備え、災害に強いまちづくりを進めてまいります。

有機フッ素化合物（PFAS）の水環境等における基準値等の設定や除去技術の調査研究及び対策技術等の確立を国に強く求め、市民の安全・安心を確保します。

火葬場については、他市町村と協力した広域的な建設も視野に、早期建設に向けて取り組んでまいります。

2. 健康がいちばん

西普天間住宅地区において、来年1月に琉球大学病院が開院、また4月に同大学医学部が開学します。国の基地跡地利用の先行モデルとして、沖縄健康医療拠点に関する取り組みを推進するとともに、健康都市宣言にふさわしい市民の健康増進事業を展開します。

高齢者のフレイル対策を強力に推進するとともに、ミニデイサービス等への支援を強化し、高齢者の生きがいづくりを応援します。また、高齢者の道迷い防止のため、見守り自動販売機等を増設します。

障がい者就労支援などの障がい者施策を推進してまいります。

地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応するため、相談を「断らない」包括的な支援体制を整備してまいり

ます。

こつした取り組みを通じ、全ての市民が身体的、精神的、社会的に健康で幸福を感じられるウェルビーイングなまちづくりを行ってまいります。

また、琉球大学病院とも連携し、救急体制を強化し、市民の生命を守る取り組みを推進します。

3. こどもの未来がいちばん

まず、こども政策を強力に推進するため、市役所にこども施策を総合的に担う部を設置し、体制面の充実を図ります。

こどもたちが身体的、精神的、社会的に将来にわたって幸せな状態、ウェルビーイングの実現に向け、教育、保健医療、福祉等の分野横断的な学術的研究と研究拠点の設置に向けた検討について、国と琉球大学と連携して取り組みます。

こどもの貧困対策に関しては、学習支援、生活支援等を通して取り組みを強化してまいります。また、ヤングケアラーや医療的ケア児への支援の仕組みを検討してまいります。

私が市長時代から始めた小学校給食費半額助成について、引き続き取り組みとともに、沖縄県における学校給食費無償化に向けた取り組み状況を注視しつつ、市立小中学校の完全無償化に向け努

1.暮らしがいちばん

まず、交通渋滞緩和政策の強力な推進です。

国道58号宜野湾バイパス高架道路については、早期の実現に向け、令和7年度に新規事業着手するよう国に強く要請します。喜友名から真志喜へ抜ける県道の建設推進を図ります。市道宜野湾11号と国道330号を結び、はしご状の市道整備を推進します。真栄原から大謝名までの渋滞の激しい県道34号の渋滞緩和策を県に強く要請します。

琉球大学医学部及び同大学病院の移設に伴い交通量の増加が想定される西普天間住宅地区周辺については、関係機関と連携して渋滞対策に取り組めます。

産業支援センターの建設については、商工会と連携し取り組むとともに、高度情報通信機能を備えた、情報通信産業振興施設の建設に取り組めます。

高齢者などの交通弱者への交通の利便性を増進するため、「ミニミニバス」などの新たな交通手段を検討してまいります。

循環型社会の構築を目指し、本市においても電気自動車の購入に係る補助事業等を検討してまいります。

琉球大学との覚書に基づき、琉球大学病院駐車場の市民利用について協議を進